安全データシート（SDS）

作成日：2026年 3月 3日
改定日：

1. 化学物質等及び会社情報

製品名：	シールピール 180mL
会社名：	太陽物産株式会社
住所：	〒104-0042　東京都中央区入船1-7-7ビーンズビル4階
担当部門：	営業部
電話番号：	03-6280-3997
FAX番号：	03-6280-3998
用途と使用上の制限：	防錆剤

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類：

物理化学的危険性	可燃性／引火性エアゾール：	区分1
健康に対する有害性	急性毒性（経口）：	分類できない
	急性毒性（経皮）：	分類できない
	急性毒性（吸入）：	区分4
	皮膚刺激／腐食性：	区分2
	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：	区分2
	呼吸器感作性：	分類できない
	皮膚感作性：	分類できない
	生殖細胞変異原性：	分類できない
	発がん性：	区分1
	生殖毒性：	区分1 授乳に対する又は授乳を介した影響に関する追加区分
	特定標的臓器／全身毒性（単回暴露）：	区分1（中枢神経系） 区分2（腎臓） 区分3（気道刺激性、麻酔性）
	特定標的臓器／全身毒性（反復暴露）：	区分1（神経系、中枢神経系、腎臓）
	誤えん有害性：	分類できない
環境に対する有害性	水生環境有害性（急性）　：	区分2
	水生環境有害性（慢性）　：	区分3

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：危険

危険有害性情報：

H222-極めて引火性の高いエアゾール
H229-高圧容器：熱すると破裂のおそれ
H332-吸入すると有害
H315-皮膚刺激
H319-強い眼刺激
H350-発がんのおそれ
H360-生殖能または胎児への悪影響のおそれ
H362-授乳中の子に害を及ぼすおそれ

H370-臓器の障害(中枢神経系)
H371-臓器の障害のおそれ(腎臓)
H335-呼吸器への刺激のおそれ
H336-眠気およびめまいのおそれ
H372-長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害
(神経系、中枢神経系、肝臓)
H401-水性生物に有毒
H412-長期的影響により水生生物に有害のおそれ

注意書き：

【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全対策を読み理解するまで取り扱わないこと。
熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざけること。ー禁煙
裸火又は高温の白熱体に噴霧しないこと。
防爆型の電気機器/換気装置/照明機器/その他機器を使用すること。
火災を発生しない工具を使用すること。
静電気放電に関する予防措置を講ずること。
加圧容器：使用後穴をあけたり燃やしたりしないこと。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
妊娠中/授乳期中は接触を避けること。
取り扱い後はよく手を洗うこと。
この製品を使用する時に飲食または、喫煙をしないこと。
屋外又は換気の良い区域のみで使用すること。
環境への放出は避けること。
保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。

【応急処置】
火災の場合には適切な消火方法をとること。
皮膚に付着した場合：多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合、医師の診断・手当を受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
眼に入った場合：水で数分間、注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断・手当を受けること。
汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の診断・手当を受けること。
気分が悪い場合は、医師に連絡すること。
【保管】
日光から遮断し、40℃を超える温度に暴露しないこと。
【廃棄】
内容物や容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

国／地域情報：

情報無し。

3. 組成、成分情報

化学物質又は混合物： 混合物

GHS分類寄与成分等：

成分名(化粧品表示名称)又は一般名	化審法番号	安衛法番号	CAS番号	重量%	備考
トルエン	3-60, 3-2	—	108-88-3	20-30	—
メチルエチルケトン	2-542	—	78-93-3	20-30	—
メチルイソブチルケトン	2-542	—	108-10-1	5-10	—
塩化ビニル酢酸ビニル共重合体	—	—	—	1-5	—
アゼライン酸ビス(2-エチルヘキシル)	2-879, 2-2569	—	103-24-2	1-5	—
2-ヒドロキシ-4-オクチルオキシベンゾフェノン	4-141	—	1843-05-6	1未満	—
エポキシ化大豆油	2-1434	—	8013-07-8	1未満	—
酢酸ビニル	2-728	—	108-05-4	1未満	—
メタノール	2-201	—	67-56-1	1未満	—
ジメチルエーテル	2-360	2-360	115-10-6	50-60	高圧ｶﾞｽ・可燃性ｶﾞｽ

4. 応急処置

吸入した場合：
医師に連絡すること。
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
呼吸が弱い場合は人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合：
直ちに汚染された衣類すべて脱ぐこと。
皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
多量の水と石けんで洗うこと。
皮膚刺激があれば、医師の診断、手当てを受けること。

眼に入った場合：
水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。洗浄を続けること。
眼の刺激が持続する場合は、医師の診断、手当てを受けること。

飲み込んだ場合：
口をすすぐこと、無理に吐かせないこと。
医師に連絡すること。

予想される急症状及び遅発性症状：
皮膚に触れた場合の凍傷など

最も重要な徴候及び症状：

応急措置をする者の保護：
火気に注意する。保護マスクがあればそれを着用する。

5. 火災時の措置

消火剤：
泡、粉末、炭酸ガス

使ってはならない消火剤：
噴流水

特有の危険有害性：
極めて燃え易い、熱、火花、火炎で容易に発火する。
加熱により容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、毒性、又は腐食性のガスを発生するおそれがある。
引火性の高い液体及び蒸気
蒸気は空気と爆発性の混合物を形成するおそれがある。
蒸気は空気よりも重い。地面に沿って広がり、着火源に達するとフラッシュバックするおそれがある。

特有の消火方法：　散水によって逆に火災が広がるおそれがある場合には上記に示す消火剤のうち、散水以外の適切な消火剤を利用すること。
散水以外の消火剤で消火の効果がない大きな火災の場合には散水する。
危険でなければ火災区域から容器を移動する。
移動不可能な場合、容器及び周囲に散水して冷却する。
消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。

消火を行う者の保護：　消火作業の際は適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置：　関係者以外は近づけない。
適切な保護具を着用する。
着火源を取除くとともに換気を行う。
風上から作業し、風下の人を退避させる。
安全に対処できる場合は漏洩を止める。

環境に対する注意事項：　漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

封じ込め及び浄化の方法・機材：　不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。
多量に流出した場合、盛土で囲ってのち処理する。
回収物はラベルを貼って密閉容器に保管する。
清浄な帯電防止工具を用いて吸収したものを集める。
溶解場所の付近の着火源となる物を速やかに取除く。
風下で作業しない。

二次災害の防止策：　着火した場合に備えて、消化用機材を準備する。
全ての発火源を取除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取り扱い及び保管上の注意

取り扱い

技術的対策：　「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。

局所排気・全体換気：　「8. ばく露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行う。

安全な取り扱い注意事項：
すべての安全注意を読み理解する迄取り扱わないこと。
屋外又は換気の良い区域でだけ使用すること。
吸い込んだり、眼、皮膚、及び衣服に直接触れないように適切な保護具を着用し、できるだけ風上から作業し、暴露防止に十分注意する。
火気、衝撃火花、高温物などによる着火を生じさせないよう注意する。
使用する電気機器は防爆構造とし機器類は静電気対策の為アースを確実に行う。作業着、作業靴は導電性の物を使用する。
容器の転倒・落下や衝撃を加えるなどの乱暴な取り扱いをしてはならない。

接触回避：　「10. 安定性及び反応性」を参照

保管

技術的対策：
保管場所には必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。

保管条件：　直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
冷所、換気の良い場所で貯蔵すること。

混触危険物質：　「10. 安全性及び反応性」を参照。

容器包装材料：　高圧ガス保安法及び国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

成分名(化粧品表示名称) 又は一般名	日本産業衛生学会	労働安全衛生法 作業環境評価基準-管理濃度	ACGIH (TLV-TWA)
トルエン	50ppm;188mg/m3(皮)	作業環境評価基準 20ppm	TWA:20ppm
メチルエチルケトン	75ppm;221mg/m3(皮) [暫定]	作業環境評価基準 200ppm	TWA:75ppm STEL:150ppm
メチルイソブチルケトン	20ppm;82mg/m3(皮) [暫定]	作業環境評価基準 20ppm	TWA:20ppm STEL:75ppm
塩化ビニル酢酸ビニル 共重合体	−	−	−
アゼライン酸ビス (2-エチルヘキシル)	−	−	−
2-ヒドロキシ-4-オクチ ルオキシベンゾフェノン	−	−	−
エポキシ化大豆油	−	−	−
酢酸ビニル	−	濃度基準値 TWA:10ppm STEL:15ppm	TWA:10ppm STEL:15ppm
メタノール	200ppm;260mg/m3	作業環境評価基準 200ppm	TWA:200ppm STEL:250ppm
ジメチルエーテル	−	−	−

設備対策： 局所排気を設置する。
取扱所の近くにシャワー・手洗い・洗顔設備を設け、その場所を明瞭にする。
洗眼設備を設ける。

保護具：

呼吸器の保護具： 適切な呼吸器保護具を着用すること。

手の保護具： 適切な手袋を着用すること。

眼の保護具： 適切な眼の保護具を着用すること。

皮膚及び身体の保護具： 適切な顔面用の保護具を着用すること。

衛生対策： この製品を使用するときは喫煙しないこと。
取り扱い後は良く手を洗うこと。

9. 物理的及び化学的性質

原液特性	形状	透明液
	色	無色
	臭い	シンナー・アセトン臭

原液特性	値	備考・引火点測定方式
pH	データなし	
融点／凝固点	データなし	
沸点／沸点範囲	データなし	
引火点	データなし	
蒸発速度	データなし	
爆発限界値		
爆発限界上限	データなし	
爆発限界下限	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	データなし	
比重	0.850 (20℃)	参考値
水への溶解度	水に不溶	
有機溶剤に対する溶解性	データなし	
分配係数	データなし	
自然発火温度	データなし	
分解温度	データなし	

噴射剤特性	外観	大気圧下　：ガス状・無色透明 圧力容器下：液状・無色透明
	臭い	やや甘味臭
	沸　点	-24.82℃
	融　点	-141.5℃
	引火点	-41.1℃
	発火点	ー
	爆発限界	下限3.4%，上限27%
製品特性	製品内圧：0.32±0.04MPa（25℃）	

10. 安定性及び反応性

危険有害反応可能性：　蒸気は引火して爆発するおそれがある。
避けるべき条件：　高温、火花、裸火、混触危険物質との接触
混触危険物質：　強酸化剤
危険有害な分解生成物：　熱分解により炭素酸化物

11. 有害性情報

急性毒性(経口)
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）ラット LD50:2900mg/kg
（メタノール）ヒト LD50:約1400mg/kg
（アゼライン酸ビス(2-エチルヘキシル)）ラット LD50:>2000mg/kg
（トルエン）ラット LD50:5000mg/kg
（メチルイソブチルケトン）ラット LD50:2080mg/kg
（メチルエチルケトン）ラット LD50:2737mg/kg

急性毒性(経皮)
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）ウサギ LD50:2.5mL/kg(換算値:2325mg/kg)
（メタノール）ウサギ LD50:15800mg/kg
（アゼライン酸ビス(2-エチルヘキシル)）ウサギ LD50:18300mg/kg
（トルエン）ラット LD50:12000mg/kg
（メチルイソブチルケトン）ウサギ LD50:>3000mg/kg
（メチルエチルケトン）ウサギ LD50:6400-8000mg/kg

急性毒性(吸入)
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）蒸気:ラット LC50:3680ppm(4時間)
（メタノール）蒸気:ラット LC50:>22500ppm(4時間換算:>31500ppm)
（トルエン）蒸気:ラット LC50:4000ppm(4時間)
（メチルイソブチルケトン）蒸気:ラット LC50:8.2-16.4g/m3(4時間)
（メチルエチルケトン）蒸気:ラット LC50:11700ppm(4時間)

皮膚腐食性／刺激性
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）区分2
（トルエン）区分2
（メチルエチルケトン）区分2

眼に対する重篤な損傷・眼刺激性
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）区分2
（メタノール）区分2
（トルエン）区分2B
（メチルイソブチルケトン）区分2B
（メチルエチルケトン）区分2A

呼吸器感作性又は皮膚感作性：　データなし
生殖細胞変異原生：　データなし

発がん性
[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル）区分1B
（メチルイソブチルケトン）区分1B

[IARC]：
（酢酸ビニル）Group 2B:ヒトに対して発がん性があるかもしれない
（トルエン）Group 3:ヒトに対する発がん性については分類できない
（メチルイソブチルケトン）Group 2B:ヒトに対して発がん性があるかもしれない

[ACGIH]： （酢酸ビニル） A3:確認された動物性発がん因子であるが、ヒトとの関連は不明
（トルエン） A4:ヒト発がん性因子として分類できない
（メチルイソブチルケトン） A3:確認された動物性発がん性因子であるが、ヒトとの関連は不明

[日本産衛学会]： （酢酸ビニル） 第 2 群 B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質
（メチルイソブチルケトン） 第 2 群 B:ヒトに対しておそらく発がん性があると判断できる物質

[EU]： （酢酸ビニル） Category 2;ヒトに対する発がん性が疑われる物質
（メチルイソブチルケトン） Category 2;ヒトに対する発がん性が疑われる物質

生殖毒性
[NITE-CHRIP]： （メタノール） 区分 1B
（トルエン） 区分 1A,追加区分

特定標的臓器・全身毒性（単回暴露）
[NITE-CHRIP]： （酢酸ビニル） 区分 3(気道刺激性),区分 3(麻酔作用)
（メタノール） 区分 3(麻酔作用)
（トルエン） 区分 1(中枢神経系),区分 3(気道刺激性),区分 3(麻酔作用)
（メチルイソブチルケトン） 区分 3(気道刺激性),区分 3(麻酔作用)
（メチルエチルケトン） 区分 2(腎臓),区分 3(気道刺激性),区分 3(麻酔作用)

特定標的臓器・全身毒性（反復暴露）
[NITE-CHRIP]： （トルエン） 区分 1(中枢神経系,腎臓)
（メチルイソブチルケトン） 区分 1(中枢神経系)
（メチルエチルケトン） 区分 1(神経系)

誤えん有害性
[NITE-CHRIP]： （トルエン） 区分 1

12.環境影響情報

水生環境有害性（急性）[NITE-CHRIP]：
（酢酸ビニル） 魚類(ヒメダカ)96 時間 LC50:2.4mg/L
（メタノール） 魚類(ブルーギル)96 時間 LC50:15400mg/L
甲殻類(ブラウンシュリンプ)96 時間 LC50:1340mg/L
（アゼライン酸ビス(2-エチルヘキシル)）
藻類(ムレミカヅキモ)72 時間 EC50:>0.013mg/L
甲殻類(オオミジンコ)48 時間 EC50:>0.093mg/L
魚類(ヒメダカ)96 時間 EC50:>0.072mg/L
（トルエン） 甲殻類(Ceriodaphnia dubia)48 時間 EC50:3.78mg/L
（メチルイソブチルケトン）
甲殻類(ブラインシュリンプ)24 時間 LC50:1250mg/L
魚類(ファットヘッドミノー)96 時間 LC50:505mg/L
（メチルエチルケトン）
藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)72 時間 ErC50:>1200mg/L
甲殻類(オオミジンコ)48 時間 LC50:>1000mg/L
魚類(ニジマス)96 時間 LC50:>100mg/L

水生環境有害性（慢性）[NITE-CHRIP]：
（アゼライン酸ビス(2-エチルヘキシル)）
藻類(ムレミカヅキモ)72 時間 NOEC:>0.013mh/L(>水溶解度)
甲殻類(オオミジンコ)21 日間 NOEC:>0.064mg/L(>水溶解度)
(トルエン)甲殻類(Ceriodaphnia dubia)7 日間 NOEC:0.74mg/L
（メチルイソブチルケトン）
甲殻類(オオミジンコ)21 日間 NOEC(繁殖):78-39mg/L
魚類(ファットヘッドミノー)31 日間 NOEC(成長):57mg/L
（メチルエチルケトン）
藻類(Pseudokirchneriella subcapitata)72 時間 NOEC:93mg/L

残留性・分解性： データなし
生体蓄積性： データなし
土壌中の移動性： データなし

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者若しくは地方公共団体がその処理を行っている場合には、そこに委託して処理する。廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性・有害性を充分告知の上処理を委託する。
汚染容器及び包装	関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

14. 輸送上の注意

国際規則

国連番号　1950

国連品名

エアゾール

国連分類　区分 2.1

（引火性ガス）

容器等級	該当なし
特別の安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、移動、転倒、衝撃、摩擦などを生じないように固定する。 重量物を上積みしない。 移送時にイエローカードの保持が必要。

15. 適用法令

労働安全衛生法：	特化則　特定化学物質　第 2 類　特別有機溶剤等（メチルイソブチルケトン） 有機則　第 2 種有機溶剤等　含有有機溶剤（メタノール、トルエン、メチルエチルケトン） 名称等を表示し、又は通知すべき危険物及び有害物 名称表示危険/有害物 （トルエン、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン） 名称通知危険/有害物 （酢酸ビニル、メタノール、トルエン、メチルイソブチルケトン、メチルエチルケトン） 危険物　可燃性のガス 引火性の物
消防法：	第四類第 1 石油類
化学物質管理促進 (PRTR)法：	トルエン（管理番号 300） メチルイソブチルケトン（管理番号 737）
高圧ガス保安法：	エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）
船舶安全法：	エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）
航空法：	エアゾール（引火性ガスを含む加圧された製品）

16. その他の情報

主な参考資料：	ケムアドバイザー社 LOLI データベース 防災指針 船載危険物、防災・救急便覧 国際化学物質安全性カード 危険物ハンドブック
注意：	このSDSは、現時点で入手した資料に基づいて作成しております。 当該製品の危険有害性に関する情報及び評価は原材料の情報から推定したものであり、必ずしも十分なものではありません。ご使用者の責任において実態に即した安全対策を講じて下さい。 このSDSは、法律の改正や新しい知見により予告なく改訂することがあります。 記載内容の中で含有量・物理的化学的性質などの値は当該製品の品質とは関係ありません。 この SDS は安全や品質の保証書ではありません。